



● 草の根パートナー型

平成21年度 第一次補正予算による草の根技術協力事業 緊急経済危機対応-フォローアップ型採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	ケニア
2. 事業名	デモンストレーション農場のオーナーシップの向上と農業技術移転フォローアップ事業
3. 事業の背景と必要性	2004年にICAが実施したケニア国内3県の住民参加型グループ聞き取り調査の結果、ケニア国内カジアド南部における農業支援の重要性が明らかとなった。近年続く、気候変動の影響と政府の区画整備により、遊牧生活を実施していた少数民族のマサイ族は定住生活を余儀なくされた。さらに、干ばつが続きマサイ族の畜産業に深刻な打撃を与え、生活回復の必要性が高まった。ICAはカジアド県に重点を絞り、住民対象の聞き取り調査を行った結果、住民が農業に対する興味があることがわかりJICAと共にカジアド県における農業技術支援を実施することとなった。活動内容は、乾燥地農業の推進と雨水を貯める貯水池の設置を行った。
4. プロジェクト目標	事業対象村の農場管理グループが自発的/持続的に農業を行うようになる。
5. 対象地域	ケニア南部カジアド県イシンニャ郡12カ村
6. 受益者層	イシンニャ地区の農場管理グループ225名、教会や学校、女性組合など関係施設、管理グループの家族（200世帯約1,200名）
7. 期待される成果及び活動	<p><成果></p> <p>(1) モデル農場に対するオーナーシップが定着する。</p> <p>(2) 事業対象村の農場管理グループが自発的に農業を行えるような技術を習得する。</p> <p>(3) 事業対象村のモデル農場の環境が整備される。</p> <p><活動></p> <p>(1) オーナーシップ研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 関係者による事業全体会議の開催と、対象村のコミュニティ分析・現状調査の実施。 ● 住民参加による組織マネジメント、オーナーシップ・ワークショップ、マサイ文化と農業開発ワークショップを実施する。 ● 事業対象村において行動計画会議を実施する。 ● 住民参加による組織マネジメントのマニュアルづくり、事業評価ワークショップを行う。 ● 住民と共にビジョンの実現にむけた行動計画の作成をする。 <p>(2) 農業技術移転</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 住民参加による農業の重要性、価値などの意識向上ワークショップを実施する。 ● 事業対象村の農園視察（ファラジャラティア農園）を行う。 ● 事業対象村の農業技術移転巡回研修 ● 住民参加による（フェンス、取水口修繕）の計画ワークショップを実施する。 ● 村の相互農場視察（スタディツアー）4カ村選定する。 ● 野菜と種、苗木の配給対象村の選定と配給方法の確認を行い、配給する。 ● 日本人専門家の派遣による乾燥地農業の研修を行う。 ● 事業対象村の参加による農業祭を開催する。 ● 住民参加による野菜栽培についてのマニュアルづくりと配布をする。 <p>(3) 業環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 行動計画に基づき農場の修繕・整備対象村の検証をする。 ● 上記に基づいた対象村と共に修繕計画を立てる。 ● 上記に基づいた対象村と共に修繕活動を行う。
8. 実施期間	2010年3月～2011年9月（1年6カ月）
9. 事業費	14,967千円
10. 事業の実施体制	<p><日本側> ICA文化事業協会：プロジェクトマネージャー、現地調整員、国内調整員</p> <p><現地側> ICA文化事業協会イシンニャ支所、イシンニャ農業局</p>
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	特定非営利活動法人ICA文化事業協会
2. 活動内容	途上国のニーズ調査を基盤とした、技術移転と人材育成を実施した総合農村開発事業の実施。途上国における事前ニーズ調査の実施に伴った事業計画を立てるため、事業内容は、農業、保健、教育、人道支援など多岐にわたる。